

帯～上肢の脱力・筋萎縮と両上肢・軀幹の知覚障害を訴えて来院。神経学的には、腱反射は両側共上肢低下・下肢亢進、温痛覚は両側 C₃～Th₁₂ で低下。MRI で Chiari Malformation I と C₁～Th₁₁ で Syrinx を確認。高度の筋萎縮のため支持性を考え、手術は C_{6,7} 右半側椎弓切除術を行い REZ で S-S Shunt 施行。術後症状の改善は見られないが進行は無し。2 例目は男性で30才頃右肩のしびれで始まり、39才で右上肢の温度覚障害と脱力を訴えて来院。神経症状は、両側共腱反射は上肢で低下・下肢で亢進、顔面右半・右 C₂～L_{1,2}・左 C₃～C₄ で温痛覚は低下。MRI で Chiari Malformation I, C₁～Th₁₁ の Syrinx。後頭下開頭に C_{1,2,3} 椎弓切除術を加え、大孔部減圧と右 C₄REZ で S-S Shunt を施行。術後は右上肢温度覚と脱力は軽快。3 例目は男性で26才の転落事故後 Th₅ 横断症状が続いていたが、35才で右上肢知覚障害、39才左上肢脱力も加わり40才で初診。MRI で C₁～Th の Syrinx。手術は Th_{1,2} 椎弓切除を行い、正中で S-S Shunt を施行。術後しびれは軽快。〔考案・結語〕Chiari 奇形の脊髓空洞症が Magendie 孔の間歇性閉塞に因り生ずるものならば、Magendie 孔の開放と S-S Shunt の組合わせが根治的手術ということになる。この点からすると、1 例目で行った手術には問題が残る。外傷性対麻痺に遅発性進行性に向上性脱落症状が加わってきた3 例目では、症状の進行を止める目的で Cyst 開放を行った。この症例ではクモ膜と脊髓は癒着していたために、空洞硬膜下シャントに終わっている。本症例では Cyst からのシャントがいつまで機能してくれるか、という点についても疑問は残る。

2) 舌咽神経痛に対する microvascular decompression

小林 啓志・岸田 興治 (信楽園病院) 脳神経外科
皆川 信

3) PTA of the carotid artery

小林 士郎・中澤 省三 (日本医科大学) 脳神経外科
Fong Y. Tsai (ミズーリ大学) カンザスシティ校

4) 脳動脈瘤術中破裂例

大塚 顕 (長野赤十字病院脳神経外科)

これ迄に演者が経験した脳動脈瘤術中破裂例の中から3 例を紹介し、手術手技や動脈瘤の性質、術中の対処の

方法、反省点などについて述べてみたい。

症例 1, 67才女性。

頭痛を主訴として近医受診。CT にて脳動脈瘤を疑われ当科に入院。CAG にて両側 ICPC 動脈瘤を認めた。まず右 ICPC の大きな未破裂動脈瘤のクリッピングを行なった。1 ヶ月後左 ICPC 動脈瘤に対して手術を行ったが、動脈瘤柄部を充分に剝離する前に IC からの枝と思われる所からの出血があり、その止血操作中に更に血管の損傷を来たし、止むなく IC の Trapping を行う結果となった。術後一時的に意識障害、失語などがみられたが、幸いにもよく改善し日常生活に支障ない迄になった。この例では対側からの血液が充分であった為と考える。

症例 2, 69才女性。

左 ICPC 動脈瘤で G II, Day O で手術、クリップをかけた瞬間 Dome 附近から出血を来たした。IC に temporary clip をおいて出血をコントロールしながら柄部にクリップをかけた。術後経過は良好であった。Dome が癒着している場合にありがちなことで、破裂をみた場合は短時間の Trapping で完全な neck clipping が可能であるので、落ちついて手術操作をすすめることが大切である。

症例 3, 59才女性。

右 IC dorsal 動脈瘤で、あらかじめ破裂を予想して頸部内頸動脈を露出しておいて直達手術を行ったが、予想通りクリップをかけた瞬間破裂した。頸動脈を閉じても十分な出血のコントロールは不能で結局 Trapping によりハイフェッツの円筒型のクリップをかけた。術後 CAG 上も臨床的にも良好な結果を得た。

この部の動脈瘤に対しては破裂を充分予測して手術にのぞむべきである。円筒型のクリップが有効であり、常に 2, 3 の種類のサイズのものを用意しておくべきである。

5) BA-SCA aneurysm の 1 例

佐々木 修・小泉 幸孝 (桑名病院) 脳神経外科

6) 後頭蓋高多発性脳動脈瘤 (BA top and VA-PICA) の 1 例

土田 正・黒木 瑞雄
齊藤 明彦・高橋 祥 (新潟県立中央病院) 脳神経外科
森 宏

椎骨脳底動脈系の破裂脳動脈瘤によるくも膜下出血